

「ちょぼちょぼ市民のためのちょぼちょぼゼミナール: ちょぼゼミ その4」

福島県の子ども甲状腺検査と放射線被曝 —チェルノブイリの悲劇を繰り返さないために

講師：田中一郎（たなか いちろう）さん

「原子力資料情報室」会員

ちょぼちょぼ市民による政策提言の会（運営委員）

3月9日のたんぽぽ舎のメルマガに「ちょぼゼミに参加して」という題で鳥居光代さんの投稿文が載りました。ちょぼゼミの一回から三回まですべて出席されたそうですが、三回目が今までで一番良く理解できたゼミだそうです。金曜行動の時に田中一郎さんの冊子を受け取るようになり、時間をかけて夫婦で読んでいました。あるとき田中さんに声をかけ「読んでいるだけでは理解できないから、講演をしていれれば聞きたい」と聞きました。その時はまだ講演をしていませんでした。ちょぼゼミはそういう声にこたえるために始めました。

第4回は（第17回）福島県民健康調査検討委員会や「環境省（似非）専門家会議」を取り上げます。東京新聞によると、福島県医大は全県民の事故直後の行動状況を調査してきたが、回答率が低いとして、検査縮少をうかがわせています。甲状腺検査でも対象の縮小が提言されています。環境省（似非）専門家会議では「甲状腺がんは寿命まで症状が出ないものがある。検査で見つかり余計な負担を与えかねない」と言っています。しかし事実は県医大が手術した54人（昨年8月25日時点）のうち8割超が腫瘍の大きさが10ミリ超か、リンパ節や他の臓器に転移があり、二人が肺に転移していました。すべきことは逆です。検査対象を福島県以外の汚染県に拡大し、また18歳以上に拡大しなければなりません。チェルノブイリでがんが急増したといわれる「事故の4年後」を前に、事故の責任を逃れたい行政側の被害状況調査のサボタージュを決して許してはなりません。

4月9日(木) 19時～21時

(開場 18時 30分)

会場:スペースたんぽぽ

参加費:800円(学生 400円)

たんぽぽ舎のあるダイナミックビルの4階
JR 水道橋駅西口から5分
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-6-2
Tel: 03-3238-9035
Fax: 03-3238-0797
Email: nonukes@tanpoposya.net
<http://www.tanpoposya.net/>

